

CSRの取り組み
富士電機のCSR
環境
環境マネジメント
環境保護基本方針
環境ビジョン2020
環境経営の体制と取り組み
環境会計
環境経営の目標と実績
事業活動と環境負荷の相関
地球温暖化防止
資源循環
化学物質管理
生物多様の保全
社会
ガバナンス
社員が取り組むCSR
地域貢献活動
ESGインデックス
社外からの評価
イニシアティブへの参画
ガイドライン対照表
PCB使用電気機器の判別について

関連資料
富士電機レポート2018
報告書バックナンバー
資料請求

環境経営の目標と実績					
環境ビジョン2020の実現に向けた進捗状況					
富士電機は中長期的な環境活動の道標として「環境ビジョン2020」を策定し、自らの環境負荷低減に加え、製品を通じた社会全体の環境負荷低減に貢献するため、具体的な目標を設定し、環境活動を進めています。					
◎：ビジョン目標達成 ○：目標達成 △：一部達成 ×：未達成					
環境経営3ヵ年ローリングプラン (2017年度～2019年度)	2017年度目標	2017年度実績	評価	2018年度目標	2019年度目標
地球温暖化防止 (生産時のCO ₂ 排出量削減)	2006年度比 13.8%削減 (排出量33.1 万トン)	2006年度比 14.4%削減 (排出量32.8 万トン)	○	2006年度比 16.0%削減 (排出量32.3 万トン)	2006年度比 18.0%削減 (排出量31.5 万トン)
	<国内> 排出量 19.4万トン	△ 排出量 19.7万トン	△ 排出量 18.9万トン	排出量 18.4万トン	排出量 17.9万トン
	<海外> 排出量 13.6万トン	○ 排出量 13.1万トン	○ 排出量 13.3万トン	排出量 13.1万トン	排出量 12.8万トン
地球温暖化防止 (製品によるCO ₂ 排出貢献量 削減)	2158万 -CO ₂ /年	2579万トン -CO ₂ /年	○	2438万トン -CO ₂ /年	2718万トン -CO ₂ /年
地球温暖化防止 (原単位※削減)	<国内> 2012年度比 6.33%削減	2012年度比 23.56%削減	◎	2012年度比 7.55%削減	2012年度比 8.75%削減
	<海外> 2006年度比 10.5%削減	○ 2006年度比 32.6%削減	○ 2006年度比 11.4%削減	2006年度比 12.2%削減	2006年度比 13.1%削減
循環型社会形成 (廃棄物の最終処分率低減)	<国内> 最終処分率 0.5%未満	0.17%	◎	0.5%未満	0.5%未満
	<海外> 最終処分率 12.0%以下	8.1%	○	5.0%以下	3.0%以下
循環型社会形成 (水資源投入量削減)	<国内> 投入量 2010年度比 14.0%削減	国内投入量 2010年度比 16.7%削減	○	国内投入量 2010年度比 16.0%削減	国内投入量 2010年度比 18.0%削減
	<国内> 原単位 2010年度比 7.0%削減	国内原単位 2010年度比 5.2%削減	△ 国内原単位 2010年度比 8.0%削減	国内原単位 2010年度比 9.0%削減	国内原単位 2010年度比 10.0%削減
	<海外> 投入量 2011年度比 16.8%削減	海外投入量 2011年度比 28.0%削減	○ 海外投入量 2011年度比 19.6%削減	海外投入量 2011年度比 22.4%削減	海外投入量 2011年度比 25.0%削減
	<海外> 原単位 2011年度比 16.8%削減	海外原単位 2011年度比 52.5%削減	○ 海外原単位 2011年度比 19.6%削減	海外原単位 2011年度比 22.4%削減	海外原単位 2011年度比 25.0%削減
化学物質 (指定物質排出削減：PRTR法 対象、VOC)	<国内> 排出量 2010年度比 20.0%削減	排出量 PRTR: 34.3%削減 (排出量154.7 トン)	○ 2010年度比 23.3%削減	2010年度比 26.7%削減	2010年度比 30.0%削減
	排出量 VOC: 20.2%削減 (排出量244.3 トン)	○ 2010年度比 23.3%削減	2010年度比 26.7%削減	2010年度比 30.0%削減	
	<海外> 排出量 PRTR 1340トンを超 えない	排出量 PRTR: 1034.1トン	○ PRTR: 1340トンを超 えない	同左	同左
	<海外> 排出量 VOC 1480トンを超 えない	排出量 VOC: 1139.6トン	○ VOC: 1480トンを超 えない	同左	同左

※国内は、原油換算エネルギー使用量を、各拠点で決めた生産数量や建物面積などのエネルギーの使用量と密接な関係を持つ数値で除した値（2012年度基準）。海外は、生産高当たりのCO₂排出量（2006年度基準）

(注) 環境に関する本報告は、富士電機の環境ISO認証取得サイトおよび取得活動中サイトのデータを集計（カバー：従業員数比94.8%

(注) :目標値は四捨五入しているため、内訳の合計と一致しない場合があります